

とちぎ広域道路網整備基本構想策定（栃木県広域道路計画マスタープラン）  
の概要について

## 1 策定の目的

人口減少・超高齢化の進行の加速化や切迫する巨大災害等、これまでに経験の無い重大な課題に直面している。

これら課題に対応すべく、国においては「国土のグランドデザイン 2050」や「首都圏広域地方計画」を策定し、我が国の将来像を示したところである。

本県においてもこれら計画との整合を図るとともに、県域を越えた交流連携を強化し、その活力を県域全体に波及させることで地域ごとの活力維持・増進を図るため、広域道路網整備基本構想（マスタープラン）を策定する。

## 2 内容・構成

### ① とちぎの将来ビジョン

- ✓ 世界・日本の中の県土“とちぎ”
- ✓ 県域を越えた広域連携
- ✓ 都市と農山村地域の連携

### ② 概要と背景

- ✓ 人口減少・超高齢化の進行
- ✓ 国際競争と都市間競争の激化
- ✓ 切迫する巨大災害への対応
- ✓ 道路インフラの老朽化の進行

### ③ 21世紀中頃を見据えた広域道路網計画の基本的考え方

- ✓ スーパーメガリージョンとの連携
- ✓ 日本海・太平洋2面活用型国土の構築実現
- ✓ 県域を越えた連携強化
- ✓ 圏域間対流の促進

### ④ 広域道路網整備の基本方針

- ✓ 国際交流拠点や全国とのネットワーク強化
- ✓ 災害に強い県土・地域づくり
- ✓ 持続可能な地域社会の形成
- ✓ 魅力ある都市や地域の形成



## 広域道路計画マスタープラン

本県の骨格を形成する高規格幹線道路（高速道路）やこれを補完する地域高規格道路を道路整備の基軸として、県土を格子状にカバーする広域幹線道路網の整備を推進